



Day by Day 2023年度

名身連聴覚言語障害者情報文化センター 〒453-0053 名古屋市中村区中村町7丁目84番地の1
TEL (052) 413-5885 / FAX (052) 413-5853 URL <https://meishinren.or.jp/> E-mail chogen@meishinren.or.jp
聴言センター利用時間：月・木・金 9:00～20:30 火・土・日 9:00～16:30 休館日：毎週水曜日、年末年始、臨時休館

～区役所・支所でのタブレット活用～ 動画を作成しました

名古屋市内の区役所・支所ではタブレット端末を使用し、遠隔で手話通訳や文字などのコミュニケーション支援が受けられる。このサービスが始まって7年になるが、令和4年度の利用数は23件と多くはなく、また、区役所・支所によって利用状況に差があるのが現状だ。

手話通訳者や要約筆記者が必要な場合、前もって区役所・支所の訪問日時を決めて派遣申請をし、当日通訳を受けて窓口で手続き等をしてきた。しかし、区役所・支所のタブレット端末を使えば自分の都合に合わせて区役所・支所へ行き手続き等ができる。今でもこのサービスを知らない人がいることや、実際利用しようとしたがよくわからなかったという意見を受け、分りやすい動画を作成した。この機会にぜひタブレット端末の利用方法を知り、今後活かしてほしい。

撮影現場&動画



動画のURL

<https://youtu.be/xoianGHymPE>



QRコード

聴覚障害者だけでなく、
区役所・支所職員も円滑な
コミュニケーションになります。

タブレットは手書きパット
としても使えます

タブレット端末の利用に予約はいりません。
ご自身の都合にあわせて区役所へお越しください。
区役所のどの課でもご利用いただけますよ。
中村区役所より

<謝意>

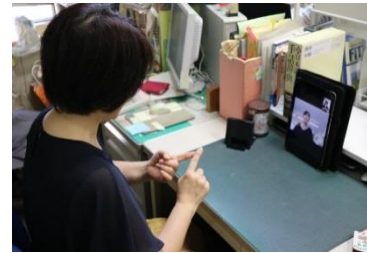
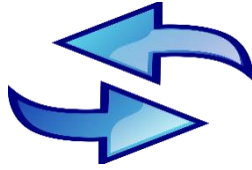
今回の撮影にあたっては、
中村区役所福祉課の職員の皆
様にご協力いただきました。



遠隔手話通訳



区役所窓口での様子



障害企画課の様子

手話通訳:①障害企画課の設置手話通訳者

- ②身体障害者更生相談所の設置手話通訳者
- ③名身連聴言センターの専任手話通訳者(予備)

※原則として「通訳①」または「通訳②」を利用。

いずれの手話通訳者とも通信ができない場合、「通訳③(予備)」を利用。

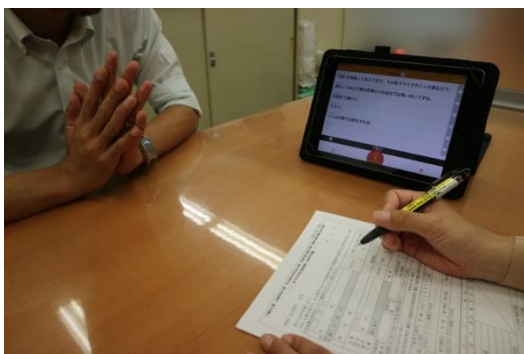
※手話通訳者が設置されている所属の業務状況により、対応できない場合あり。

利用場所:各区役所福祉課・支所区民福祉課 ※福祉課窓口以外の窓口でも使える。

利用時間:月～金曜日 9:00～16:00 ※祝日及び区役所・支所の休館日を除く。

遠隔でおこなった通訳内容においても、担当した手話通訳者は通常の派遣業務同様に守秘義務の徹底がおこなわれている。

音声認識システム



区役所窓口での様子



「音声の文字化」による
やり取りは、音声認識アプリ
(UDトーク、UD手書き)を利用。

障害者差別解消法、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の成立から、様々な環境整備が進んでいる。実際に使うことで、必要なもの・必要のないものが出てくる。区役所・支所でタブレットの手話通訳を利用した方から「便利だ」「手続きがスムーズだった」という声もある。その反面、「やっぱり対面通訳の方がわかりやすい」という人もいる。区役所・支所に行く時に、派遣制度を使うのか、遠隔通訳を使うのかを状況や内容に合わせて自分で決められる。その選択肢があることを聴覚障害者に知ってもらおうと同時に、きこえる人にも理解を広め、社会の中のコミュニケーションのバリアがなくなっていくことを期待する。

社会講座「お寺でいただく^{しょうじん}精進料理」行ってきました！

2023年11月7日（火）犬山市の^{せんしやうじ}先聖寺で本格的な^{ふちや}普茶料理（中国から伝わった精進料理）をいただき^{ざぜん}坐禅体験をした。普茶料理は全て^{おしやう}和尚がお一人で作られたというお話に驚き、坐禅体験は参加者から「初めての経験だった、楽しかった」と感想を聞くことができた。初めて体験した参加者が多く、始めは緊張している様子だった。終わった後は笑顔で「テレビで見たことはあったけど体験することができてうれしかった」と複数の参加者からお話を聞くことができた。

次年度もバスツアーを開催予定。詳細が決まったらお知らせするので是非ご参加を。

※ 社会講座参加の対象者：名古屋市内在住の18才以上の聴覚障害者で、身体障害者手帳をお持ちの方。



^{もくぎよ}木魚がなぜ口に玉をくわえているのか、木魚をたたくのはなぜかなどいろいろなお話を聞きました。



^{ふちや}色鮮やかな普茶料理



1人ずつ和尚から^{けいさく}警策（坐禅のとき肩や背中などを打つための棒）で背中をたたいていただきました。

第28回聴覚障害者文化活動フェスティバルinなごや

当日申込み受付もOK！

手話による演劇集団「男組！！」が名古屋にやってくる！

2024年

2月11日（日）

●開場 午後1時30分

●開演 午後2時00分

終演 午後3時30分予定

●入場料
800円
全席自由

定員
750名



メンバー

★砂田 アトム

★野崎 誠

★板橋 みつお

★江副 悟史

★今井 彰人

■会場

伏見ライフプラザ
5階 鯨城ホール

■お申し込みについて

① QRコードから必要事項を入力しお申し込みください。※QRコードでのお申し込みができない場合、お問い合わせ先にご連絡ください。

② 受付確認後、受付番号をお伝えします。※受付番号は当日まで大切に保管してください。

■受付開始日

★聴覚障害者及びその家族 11月11日（土）9:00～ ★聴覚障害者以外 12月1日（金）9:00～

■お問い合わせ先 / 名身連聴覚言語障害者情報文化センター ※休館日は毎週水曜日、12月29日～1月4日
〒453-0053 名古屋市中村区中村町7-84-1（名身連福祉センター内）

FAX 052-413-5853（間違えないよう気をつけてください） TEL 052-413-5885

E-mail : bunkafeste2023@meishinren.or.jp ホームページ <https://www.meishinren.or.jp>



社会講座

「簡単！腰痛・ひざ痛予防講座」の案内

腰痛・ひざ痛の原因や毎日できる予防体操を楽しく学べる講座です。みなさまのご参加お待ちしております。

※名古屋市内に在住の18才以上の聴覚障害者の方で、身体障害者手帳をお持ちの方対象の講座です。

日時：2024年3月2日(土) 13:30~15:30

場所：名身連福祉センター 4F

定員：20名 受講料：無料(事前申込必要)

講師：中医薬膳特任教授 中医康復 都築 麻尋 氏

問合せ：名身連聴言センター

FAX:(052)413-5853

TEL:(052)413-5885

E-mail:chogen@meishinren.or.jp

※ 詳細は後期社会講座パンフレットまたは名身連ホームページをご確認ください



手話通訳・要約筆記のある行事

◆なごや環境大学共育講座 ㊤㊤

「フードバンク活動で幸せに

～食品ロス・貧困のない社会へ～

日時：2月17日(土) 13:30~15:00

講師：谷口 かおる 氏

(認定NPO 法人セカンドハーベスト名古屋事務局)

参加費：無料(事前申込不要)

託児有：事前申込必要(問い合わせください。)

定員：350名

場所：イーブルなごやホール中区大井町7-25

問合せ：イーブルなごや

FAX:(052) 322-9458

TEL:(052) 331-5288

◆令和5年度名古屋市若年性認知症講演会 ㊤㊤

「住み慣れたまちで私も家族も自分らしく生きる」

日時：2月18日(日) 13:30~16:00

内容：①講演「33年間に会った若年性認知症の本人・家族との思い出」

講師：松本 一生 氏

(松本診療所ものわすれクリニック理事長・院長)

②シンポジウム

「住み慣れたまちで私も家族も自分らしく生きる～『あゆみの会』がつなげる希望～」

参加費：無料(事前申込不要)

定員：500名

場所：鯉城ホール(伏見ライフプラザ5階)

中区栄1-23-13

問合せ：名古屋市認知症相談支援センター

FAX:(052) 734-7199

TEL:(052) 734-7079

非常用具を確認しよう!



どんなときもコミュニケーションに困らないよう災害時に必要なものをもう一度確認してほしい。

 ☐ スマートフォン	 ☐ 充電器	 ☐ 筆記用具
 ☐ 補聴器	 ☐ 補聴器用電池	 ☐ ホイッスル・笛
 ☐ 耳マークカード	 ☐ 懐中電灯	 ☐ ヘルプカード
 ☐ 障害者手帳のコピー	 ☐ お薬手帳	 ☐ メガネ

派遣事業とライブラリー利用状況

利用状況		7月	8月	9月	10月	11月
手話通訳者派遣	件数	410	373	439	431	406
	人数	442	406	497	483	466
要約筆記者派遣	件数	20	11	24	21	37
	人数	54	32	71	52	107
盲ろう通介員派遣	件数	171	167	172	172	167
	人数	176	174	183	175	177
ビデオ・DVD貸出	本数	6	3	3	0	2
中継サービス利用	件数	28	42	26	55	42

～ 編集後記 ～

1月1日「令和6年能登半島地震」が発生しました。被災にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。日本はいつどこで大地震が起きてもおかしくないと言われています。緊急地震速報を早く知る方法としてスマホと連動した腕時計を身に付ける方法があります。自分の命を守るために非常用具の確認、避難場所の確認などをおこなしましょう。

